

「Ubuntu」搭載のサイネージ STB、iBASE と共同開発 - 来春販売開始
～10年間の長期供給とセキュリティサービスを実現する業界初※の STB～

デジタルサイネージクラウドサービス「デジサイン」(以下、デジサイン)を展開するサイバーステーション株式会社(本社:石川県金沢市、代表取締役社長:福永 泰男、以下 当社)は、台湾の廣積科技股份有限公司(本社:台湾 台北市、董事長:林 秋旭、以下、iBASE 社)と提携し、新しいタイプのデジタルサイネージ用セットトップボックス(STB)について、2024年7月より共同開発を開始いたします。

この STB は、Linux OS の「Ubuntu」を搭載し、業界で初めて、最長 10 年間の継続的な供給とセキュリティサポートを提供する次世代デジタルサイネージ STB を市場に投入します。

※当社調べ

◆新しい産業革命を牽引するデジタルサイネージ STB を目指して

「Ubuntu」は、産業用 STB やネットワークストレージなどの組み込みデバイス向けの OS として、長期的なセキュリティサポートが特徴です。リリースから 5 年間のセキュリティアップデートが提供され、有償サービスにより最長 10 年間の更新を受けられます。

ご利用の皆様は、この長期サポートを通じて、安定した運用と将来にわたるセキュリティを確保できます。Ubuntu Pro for Devices は、長期に渡るビジネスの成功を支える信頼の基盤となると考えております。

また、iBASE 社は、スマートフォン市場で広く採用されている MediaTek の「Genio510」CPU を搭載した、革新的な産業用 STB の開発に着手します。この CPU は、コストパフォーマンスに優れ、省エネで耐久性が高く、最長 10 年間の供給が保証されています。

さらに、Mali-G57 GPU を搭載し、4K60P の鮮明な動画再生を実現。AV1、H.265、H.264 の各コーデックに対応し、デュアルディスプレイもサポートしています。また、強力なマルチコア AI プロセッサを内蔵し、エッジ AI 技術を活用し、駆使したマーケティングや広告展開が可能となります。

店舗のデジタルサイネージを通じて、顧客の注目を集め、インタラクティブな体験を提供することで、販売促進やブランド認知度の向上に直結します。また、長期間のセキュリティ更新とサポートにより、安心して長期にわたる運用が実現できます。

新たなデジタルサイネージ STB の開発は、デジタルサイネージを活用するお客様のビジネスを革新し、成長を加速させるための鍵となると考えております。

※ 1 Ubuntu Pro for Devices と iBASE 社の強み

iBASE

Genio510
MediaTek Genio
10年供給

- 優れた性能**
最大6nmプロセス、高性能、低電力
- 包括的な接続性**
Wi-Fi5/6、BT5.2、LTE、Sub-6 5Gをサポート
- 強力なAIコンピューティング**
MediaTekAPU AIエンジン、最大4.8 TOPSの総合パフォーマンス
- 高度なマルチメディア** AV1/VP9/H.265/H.264
最大4K90 VDEC、4K60 VENC、ISP、HDR
- 拡張インターフェース**
USB2.0/3.2 Gen1、PCIe、GbE、HDMI、DP、HDMI-RX
- サポートOS**
Android Yocto Linux Ubuntu S/W長期サポート



*システムとしての機能は一部変更となる可能性があります。

Ubuntu Pro for Devices

- 最大10年のセキュリティメンテナンス**
Ubuntuと数千のパッケージに対して最大10年のセキュリティメンテナンス
- Device管理機能**
システム管理ツールによりdevice管理機能を提供
- 安心のオープンソースサプライチェーン**
サプライヤーから同じ保証を持つ安全で維持されたオープンソースを提供
- コンプライアンスの合理化**
EUやアメリカなどの新しい法律に対応し、長期的なSWセキュリティをサポート
- エンタープライズレベルのセキュリティ**
エンタープライズ環境向けの運用管理の効率化を目的としたツールをサポート



◆今後の展開と活動

当社は、デジタルサイネージをもっと手軽に、そして安全にご利用いただけるよう、新しいデジタルサイネージ STB を開発してまいります。サイバー攻撃から保護し、長期間安心してお使いいただけることを目指してまいります。

日本市場でのデジタルサイネージの普及と成長に貢献することで、当社のサービスビジョン「安く、永く、効く」を実現してまいります。

開発は7月より開始し、2025年春には製品の販売とサービスの提供を開始する予定です。

◆デジサインのサービスコンセプト

安く、永く、効く。デジタルサイネージサービス

費用対効果が高く 案に使えるから 実感できる

デジサイン

※ デジタルサイネージとは

デジタルサイネージとは、表示と通信にデジタル技術を活用してディスプレイやプロジェクタなどに映像や文字を表示する情報・広告媒体である。内蔵記憶装置に多数の表示情報を保持することで必要ならば秒単位で表示内容の切り替えや動画表示、その他 PDF ファイルなどのドキュメントファイルを表示するなど、多様な表現で販売促進や広告配信を展開できる。(参考：ウィキペディア)

※ セットトップボックスとは

セットトップボックス (STB) は、テレビやディスプレイに接続して、さまざまな映像信号を受信し、表示するための機器です。元々は衛星放送やケーブルテレビの信号を受信するために使用されていましたが、現在ではインターネットを介した動画配信サービスやデジタルサイネージの視聴にも広く利用されています。

◆パートナー企業からのコメント

今回の開発の発表にあたり、パートナー企業からのコメントをいただいております。

岡谷エレクトロニクス株式会社 代表取締役社長 水野 治

デジタルサイネージ市場ではセキュリティ、品質、長期供給等において様々な課題が存在しております。今回の発表の新型デジタルサイネージ STB の開発では、これらの課題解決の一役を担えると期待しております。弊社は iBASE 社とともにサイバーステーションの技術支援、品質・供給サポートにおいて貢献してまいります。

■岡谷エレクトロニクス株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：水野 治）について

創業 350 余年の歴史を有し、“グローバル最適調達パートナー”を目指す、岡谷鋼機が、さらに大きな躍動を目指す 21 世紀ビジョンの一環として、1984 年に設立した会社です。岡谷グループの情報・電機部門の中核を構成する技術商社として、半導体、電子部品ならびにシステム製品の販売及び技術サポートを行っております。

サイバーステーション株式会社

代表者：代表取締役社長 福永 泰男

本社：石川県金沢市西念 1 丁目 2 番 26 号

資本金：8,000 万円

事業内容：デジタルサイネージ事業、空間デジタル事業、関連システム開発

U R L：<https://digisign.jp>

【開発協力/STB ハードウェア開発元】

廣積科技股份有限公司 (iBASE)

代表者：董事長 林秋旭 (C.S. Lin)

本社：台北市南港區園區街 3 號 15 樓之 1 (F 棟)

事業内容：ハードウェアの製造販売（産業用マザーボード、産業用組込 PC、デジタルサイネージ STB、ARM 搭載ボード）

U R L：<https://www.ibase.com.tw/jp>

プレスリリースの内容は発表時のものです。

予告なく変更となる場合がありますのでご了承ください。

【本プレスリリースに関するマスコミ問い合わせ窓口】

サイバーステーション株式会社

商品に関するお問い合わせ：営業本部 営業推進部

TEL : 076-255-1525

FAX : 076-255-1575

email：pr@cyberstation.co.jp

導入に関するお問い合わせ：営業本部 営業部

「フリーコール：0800-123-4138」